

問 予定する森林整備事業の内容は。

答 飯森東山地域、嶺方郷尺窪の2カ所で、森林の境界明確化事業を行う予定で、面積は約40ヘクタールです。

観光課関係では、猿倉駐車場での登山相談所設置費用に40万円の増額。観光地経営計画のワーキンググループ34名、年度内3回分の委員報酬に38万8千円を増額。ナイトシャトルバス運行委託の予算の組み立て変更によるもので、479万6千円を増額。小規模事業者経営改善資金利子補給補助金の利子補助等に50万円を増額。

問 マル経資金の利子補助は実際の申込者全員に補助するのか。

答 全員にしていこうという村の姿勢です。

問 ナイトシャトルバスの経費の計上方法が年度内で変更になった理由は。

答 地域公共交通会議への交付金制度が終了したためです。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第58号 白馬村下水道事業特別会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算総額に、それぞれ215万5千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ12億8991万9千円とするもの。

歳入では、下水道加入分担金の分納誓約者の最終分70万円、区域外流入の件数増による8万7千円の増額。

歳出では、八方尾根開発の温泉施設の井戸水用のメーター代として8万5千円、電気料の高騰による67万3千円の増額。下水道事業団に委託していた浄化センターの長寿命化のための実施設計の額の確定による300万円の減額。

問 区域外流入の件数は。

答 現在、工事中も含め6件です。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第59号 白馬村水道事業会計補正予算（第3号）

収益的収入および支出を、それぞれ285万1千円を増額、資本的収入及び支出を、それぞれ1512万円減額するもの。

収益的支出では、震災の対応に嘱託職員1名、臨時職員各2名の時間外手当合計80万円の増額。震災後、土日全て出勤で工事等に当たっている。

村内26カ所の配水池、ポンプ等の電気代として170万円、地震後の別荘の再検針委託料として、11万1千円の増額。資本的支出では、落倉地区道路改良工事の工事延期のため、1512万円の減額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●陳情第12号 農業改革に関する陳情書

政府で予定される農業協同組合などの関連法案の検討に際し、JAの自己改革案を尊重してもらいたいというもの。

意見

村民に一番身近な経済団体であり、自ら改革をしようとしているので、採択と言う形の中で意見書を提出すべきと思う。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●議案第48号 白馬村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

反対討論

【加藤亮輔議員】

この条例は、民間参入により利潤を追求する独立採算制の事業体になる。効率的な園経営が求められ、職員のパート化、非正規化など、労働条件の低下が進み保育の質の低下を招く。保育士資格者以外でも保育できる基準など。村が保育実施責任を果たし、保護者負担を軽減し、保育職員の待遇改善することが本当の少子化対策になる。

賛成討論

【太田修議員】

子ども・子育て支援新制度では、幼児期の学校教育・保育の総合的な提供や待機児童対策の推進、地域の子ども・子育て支援の充実を図ることを目的として、市町村に権限が委譲され、条例の整備は不可欠。すみやかに条例を整備し、地域の状況とニーズに即した子ども・子育てに関する充実した制度をつくることが望まれる。